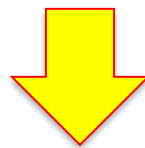


(2) 金剛地区まちづくり会議(全体会)の あり方について

現在の金剛地区まちづくり会議の状況

まちづくり会議は、誰もが気軽に参加でき、自主的・自立的な活動を行うプラットフォーム

町会・自治会、校区福祉委員会など、既存組織の枠を超える
新たなプラットフォーム



誰もが気軽に参加できる場、仲間をみつける場、新たなつながりや取組（プロジェクト）が生まれる場として、**全体会**を**定期的**に**開催**している。

全体会で取組目標やテーマを検討

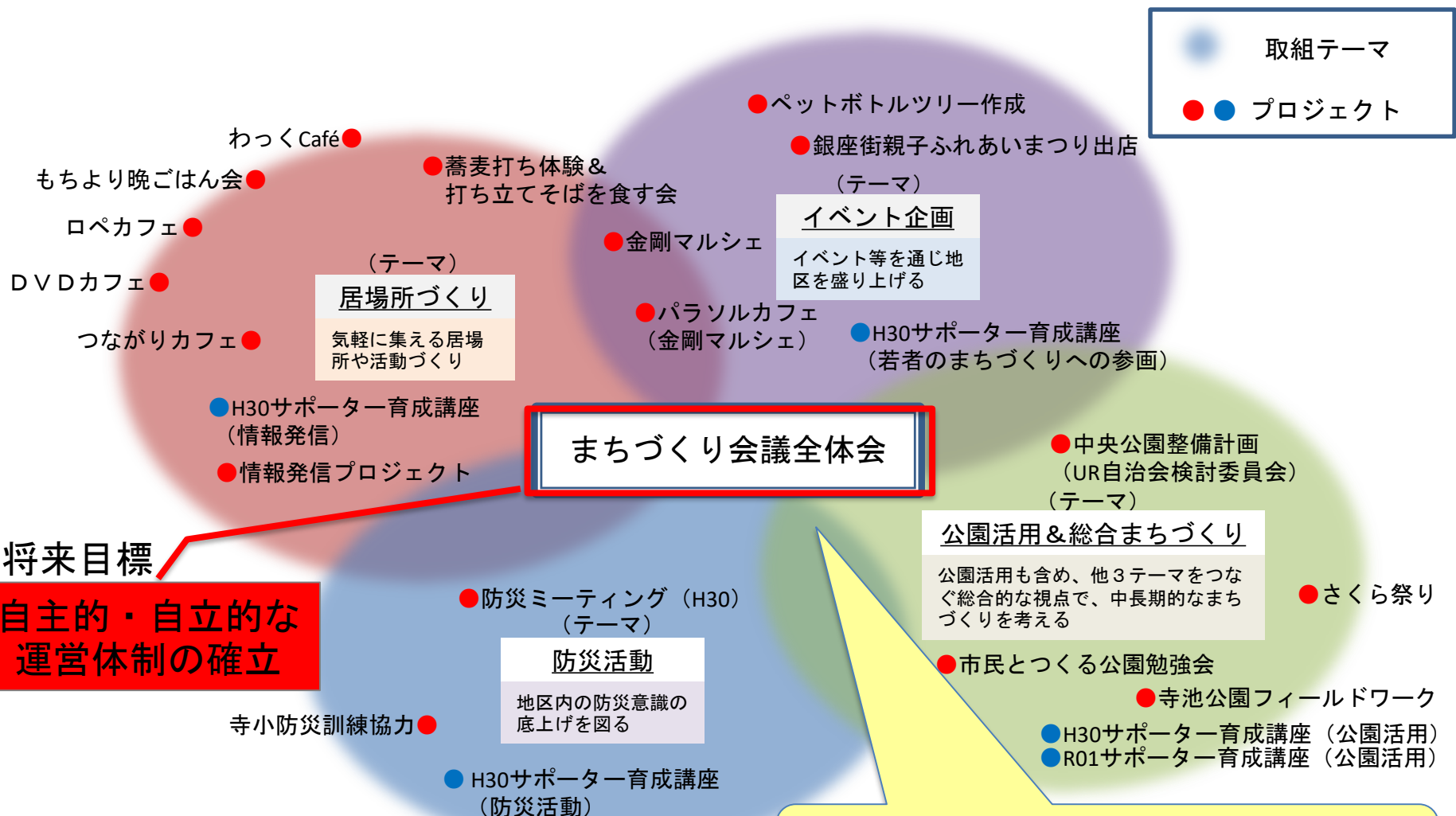
①居場所づくり、②イベント企画、③防災活動、④公園活用＆総合まちづくり、
4つの取組テーマに沿った**複数のプロジェクト**が進められている。

「金剛地区でこんなことがしたい！」といった思いがある参加者を随時**募集中**。

これまでのまちづくり会議の活動について

まちづくり会議の活動イメージ

※まちづくり会議の場から立ち上がったものの他、関連するプロジェクト等



※新型コロナウイルスの影響もあり、目標通り進んでいない。

段階的な到達目標として前回協議会でも共有。

全体会の運営について

自主的・自立的な運営に向けて。

全体会の運営について

金剛地区まちづくり会議の事務局機能

①全体会の企画運営

日程調整、場所の予約、案内送付、議案・資料作成、ファシリテーター、議事録整理等

現状、全て事務局が担っている

②外部への情報発信 & 団体内の連絡体制

ニュースレター企画・作成・配布、SNS発信、名簿作成、LINE活用等

個別プロジェクトに関することは、メンバーが担っているが、**全体会に関することは事務局が担っている。**

③プロジェクト活動のコーディネート

各プロジェクトごとの活動やプロジェクト間のコーディネート、新たな活動の創出等

個別のプロジェクトは、自主的・自立的な活動が確立しているが、**プロジェクト間の連携等は不十分。**

④会計

会運営資金の確保、各プロジェクトへの予算配分、会計担当者の選任等

運営資金は、市予算の他、マルシェでの物販から捻出。現状、会計管理や予算配分の体制が不十分。

当面の課題・目標＝①の機能を参加者で担うことが目標

全体会の運営について

将来像

★まちづくり会議参加者が、自主的・定期的に集まる場を作り、参加者のしゃべり場、情報共有の場、仲間をみつける場、新たなつながりや取組(プロジェクト)が生まれる場として運営する。

※事務局(行政)も
オブザーバーとして参加。

(参考)自主的・自立的な運営に向けて(運営経費の課題)

■会議の会場費

→市施設であれば、当面は無償で使用可。

■事務・活動経費(資料作成費、通信費、イベント経費、講師謝礼等)

→物販等の売上確保、若しくは参加者からの実費徴収等が必要。

※いずれも、現状は、市予算で賄われている。

現状課題

★人的・金銭的な面も含め、事務局(行政)がサポートし、集まる場を作らなければ、まちづくり会議(全体会)の場、そのものが消滅してしまう可能性がある。

市が、施策の方向性等を検討する際に、
住民意見等を伺う場としても、まちづくり会議(全体会)の場は必要。

※このまま消滅してしまうことは避けなくてはならない。

※当面は、事務局(行政)も運営をサポートする必要あり。

段階を追って自主的・自立的な活動へ移行

全体会の運営について

全体会運営体制

全体会での会議内容等を事前に話し合う会議を開催する。

参加される方が
少なかった。



全体会で話し合いたい内容がある方が参加する場として。

・毎月第4土曜日13:30～ @ こんごう体育整骨院

自主的・自立的な組織運営の確立を目指して、事前会議を開催。

※定例開催は休止。

事務局提案

①

全体会の場(集まる場)づくりをする世話を設置する。

→全体会の場の企画・開催のため

②

他にも方法が・・・？

【来年度の目標】

全体会の場(集まる場)を
自分たちでつくっていく

「組織体制づくり」にこだわらず、自主的に
集まる「場づくり」を行うことを目指す！

(場づくりのためには)

- ・会議のテーマを事前に考える。
- ・開催日程の検討、場所の予約
- ・会議開催の際に、参加者に声かけする。
- ・当日の進行(ファシリテーター)

【今後の全体会の運営体制をどのようにするべきか？】

- ①世話人は、会議参加者・市の共同で担うべきである。
- ②少なくとも中央公園（再整備等）の議論が終わるまでは、市が中心となって運営するべきである。
- ③より自主的・自立的な取組ができるよう、早期に住民主体による運営の確立をめざすべきである。

上記、3通りの考え方が提案されたが、

「まちづくり会議」の設立趣旨、これまでの議論も踏まえ、③を目標として掲げ、当面は①から段階的に進めていってはどうか？

※②の意見について

市は、今後も金剛地区に関する住民意見の聞き取りの場として全体会の場を活用したいと考えており、運営が住民主体となったとしても、中央公園の意見聞き取りの場が失われるわけではない。

全体会の運営について 来年度の目標(第6回全体会(3/20開催)で提案)

来年度の目標 全体会の場づくりを、市と参加者有志(世話人)の共同で行う。

- ・大まかな会議開催準備(日程調整・会場予約等)は事務局が担うが、会議の進行等は参加者が担う。

- ・司会(進行役)
- ・議論のテーマ決定(会議冒頭に話し合いで決定)
- ・次回の日程、議論テーマ等の大まかな予定共有

まずは、第1ステップからスタート
※少なくとも進行役は担ってほしい！

指針推進協議会の進捗についても市民委員により共有



次のステップ

- ・会議日程、話し合うテーマなど、参加者が発案し、自分たちで全体会の場を設定する。
※ただし、市が施策の方向性等を検討する際に、住民意見等を伺う場として、招集する場合もあり。

第6回全体会(3/20開催)での参加者の意見

(あ)

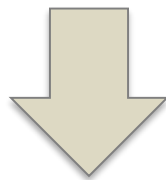
・現状の、行政のみが事務局となる運営が望ましい。

(い)

・住民が主体となって、自主的自立的な運営をすることが目標ではあるが、現状をみると住民のみでの運営は難しい。

(う)

・将来的に参加者有志(世話人)のみでの運営に移行するのは難しいが、市と参加者有志(世話人)共同での会議運営は望ましいと考えており、それなら実現できそうである。



来年度は、市と参加者有志(世話人)共同での会議運営について検討。
上記に向けた支援を進めていく。